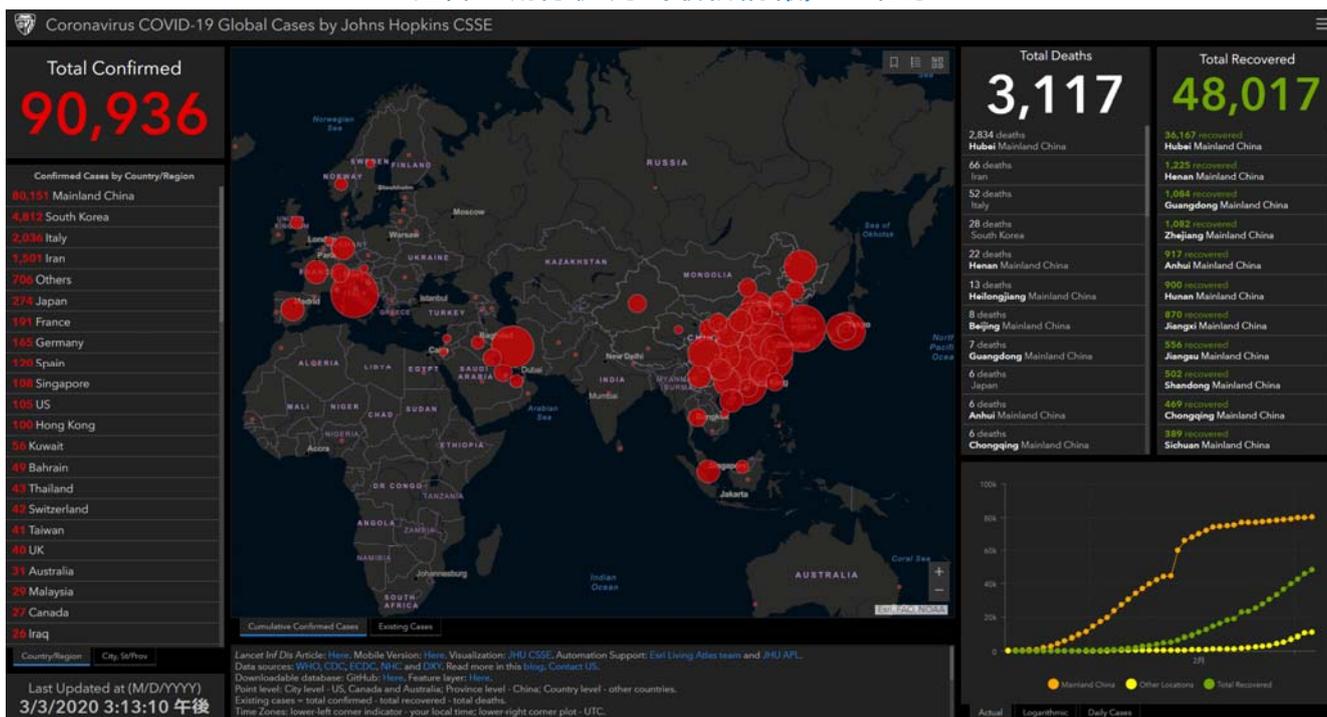


Coronavirus COVID-19 Global Cases by Johns Hopkins CSSE

世界の流行状況（最新情報）の確認



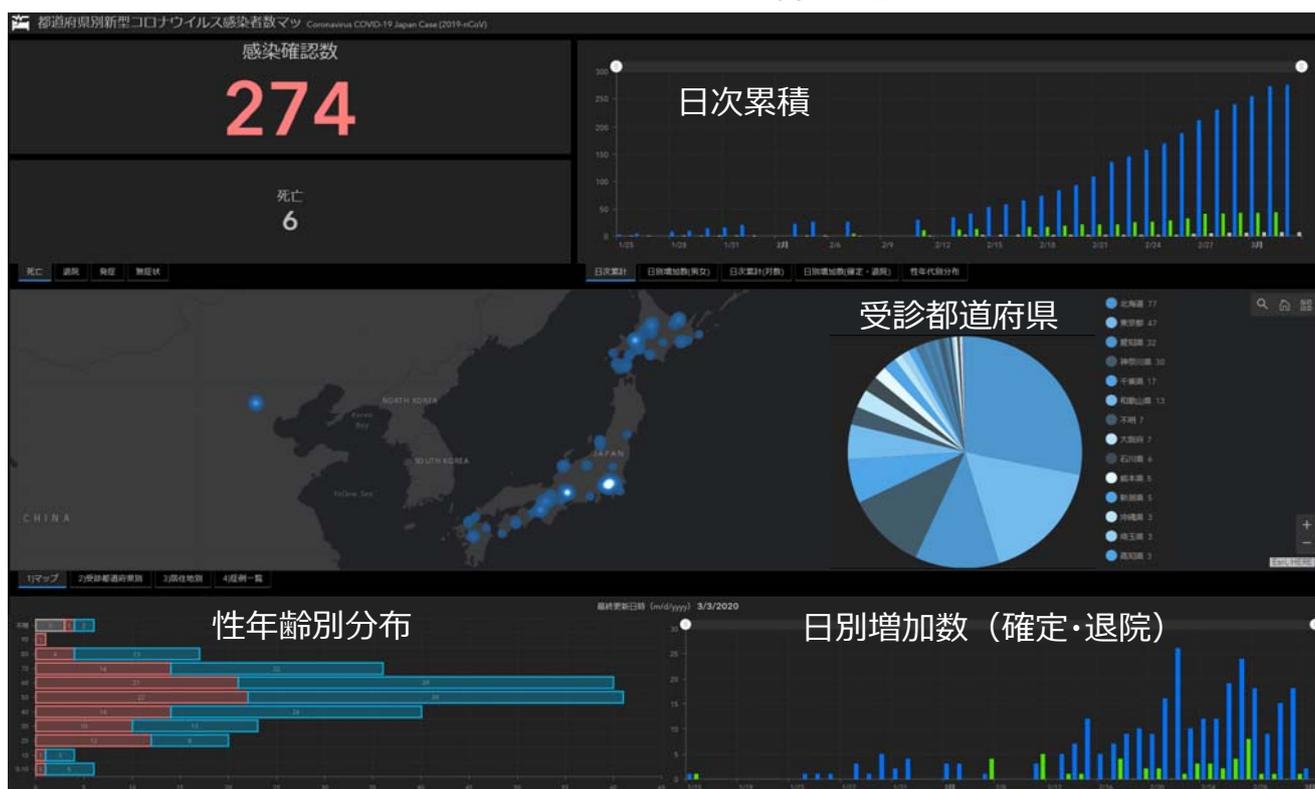
参考文献 9

<https://gisanddata.maps.arcgis.com/apps/opsdashboard/index.html#/bda7594740fd40299423467b48e9ecf6>

2

都道府県別新型コロナウイルス感染者数マップ

日本の流行状況（最新情報）の確認



参考文献 10

<https://jaqjapan.maps.arcgis.com/apps/opsdashboard/index.html#/259ce3e3e2bf4c77876d4ecde6ea2564>

3

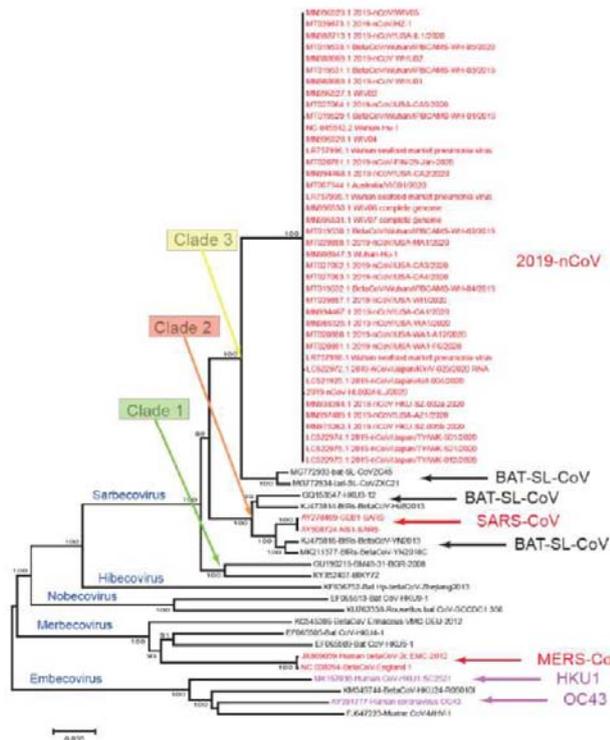


Figure 1. Phylogenetic analysis of the COVID-19 virus and its closely related reference genomes

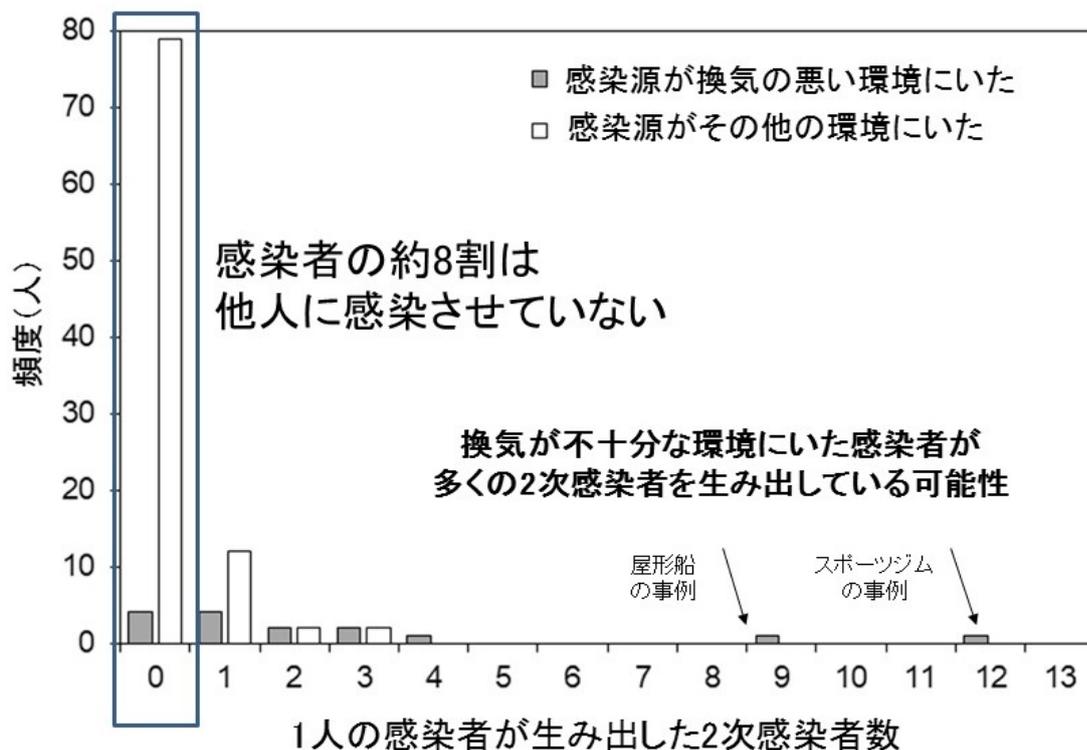
Note: COVID-19 virus is referred to as 2019-nCoV in the figure, the interim virus name WHO announced early in the outbreak.

参考文献 1 1

<https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/who-china-joint-mission-on-covid-19-final-report.pdf>

一人の感染者が生み出した2次感染者数

(2月26日時点の国内発生110例の分析結果)



参考文献 1 3

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

新型コロナウイルス厚生労働省対策本部クラスター対策班

The Epidemiological Characteristics of an Outbreak of 2019 Novel Coronavirus Diseases (COVID-19) — China, 2020

TABLE 1. Patients, deaths, and case fatality rates, as well as observed time and mortality for n=44,672 confirmed COVID-19 cases in Mainland China as of February 11, 2020.

Baseline Characteristics		Confirmed Cases, 確定例 N (%)	Deaths, 死亡例 N (%)	Case Fatality Rate, %	Observed Time, PD	Mortality, per 10 PD
全体	Overall	44,672	1,023	2.3	661,609	0.015
年齢	Age, years					
	0–9	416 (0.9)	–	–	4,383	–
	10–19	549 (1.2)	1 (0.1)	0.2	6,625	0.002
	20–29	3,619 (8.1)	7 (0.7)	0.2	53,953	0.001
	30–39	7,600 (17.0)	18 (1.8)	0.2	114,550	0.002
	40–49	8,571 (19.2)	38 (3.7)	0.4	128,448	0.003
	50–59	10,008 (22.4)	130 (12.7)	1.3	151,059	0.009
	60–69	8,583 (19.2)	309 (30.2)	3.6	128,088	0.024
	70–79	3,918 (8.8)	312 (30.5)	8.0	55,832	0.056
	≥80	1,408 (3.2)	208 (20.3)	14.8	18,671	0.111
性別	Sex					
	男性 Male	22,981 (51.4)	653 (63.8)	2.8	342,063	0.019
	女性 Female	21,691 (48.6)	370 (36.2)	1.7	319,546	0.012
職業	Occupation					
	サービス業 Service industry	3,449 (7.7)	23 (2.2)	0.7	54,484	0.004
	農業/労働者 Farmer/laborer	9,811 (22.0)	139 (13.6)	1.4	137,992	0.010
	医療関係者 Health worker	1,716 (3.8)	5 (0.5)	0.3	28,069	0.002
	退職者 Retiree	9,193 (20.6)	472 (46.1)	5.1	137,118	0.034
	その他 Other/none	20,503 (45.9)	384 (37.5)	1.9	303,946	0.013

参考文献 1 4

<http://weekly.chinacdc.cn/en/article/id/e53946e2-c6c4-41e9-9a9b-fea8db1a8f51?from=timeline&isappinstalled=0>

6

The Epidemiological Characteristics of an Outbreak of 2019 Novel Coronavirus Diseases (COVID-19) — China, 2020

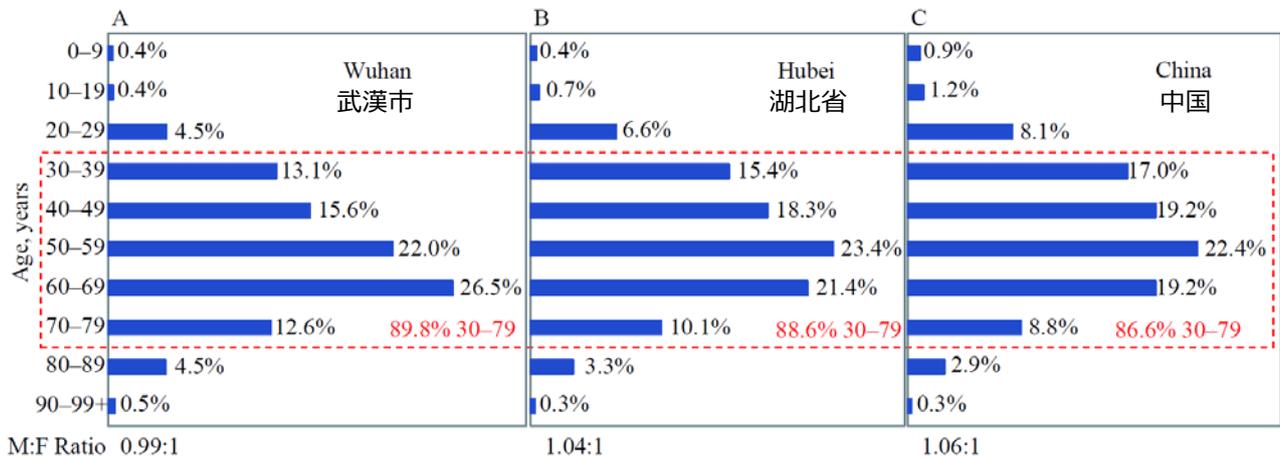
Baseline Characteristics		確定例 Confirmed Cases, N (%)	死亡例 Deaths, N (%)	致死率 Case Fatality Rate, %	Observed Time, PD	Mortality, per 10 PD
省	Province					
	湖北省 Hubei	33,367 (74.7)	979 (95.7)	2.9	496,523	0.020
	その他 Other	11,305 (25.3)	44 (4.3)	0.4	165,086	0.003
	Wuhan-related exposure*					
	Yes	31,974 (85.8)	853 (92.8)	2.7	486,612	0.018
	No	5,295 (14.2)	66 (7.2)	1.2	71,201	0.009
	Missing	7,403	104	2.8	103,796	0.010
基礎疾患	Comorbid condition†					
	高血圧 Hypertension	2,683 (12.8)	161 (39.7)	6.0	42,603	0.038
	糖尿病 Diabetes	1,102 (5.3)	80 (19.7)	7.3	17,940	0.045
	心血管疾患 Cardiovascular disease	873 (4.2)	92 (22.7)	10.5	13,533	0.068
	慢性肺疾患 Chronic respiratory disease	511 (2.4)	32 (7.9)	6.3	8,083	0.040
	がん Cancer (any)	107 (0.5)	6 (1.5)	5.6	1,690	0.036
	None	15,536 (74.0)	133 (32.8)	0.9	242,948	0.005
	Missing	23,690 (53.0)	617 (60.3)	2.6	331,843	0.019
重症度	Case severity‡					
	軽症 Mild	36,160 (80.9)	–	–	–	–
	重症 Severe	6,168 (13.8)	–	–	–	–
	重篤 Critical	2,087 (4.7)	1,023 (100)	49.0	31,456	0.325
	Missing	257 (0.6)	–	–	–	–
時期	Period (by date of onset)					
	Before Dec 31, 2019	104 (0.2)	15 (1.5)	14.4	5,142	0.029
	Jan 1–10, 2020	653 (1.5)	102 (10.0)	15.6	21,687	0.047
	Jan 11–20, 2020	5,417 (12.1)	310 (30.3)	5.7	130,972	0.024
	Jan 21–31, 2020	26,468 (59.2)	494 (48.3)	1.9	416,009	0.012
	After Feb 1, 2020	12,030 (26.9)	102 (10.0)	0.8	87,799	0.012

参考文献 1 4

<http://weekly.chinacdc.cn/en/article/id/e53946e2-c6c4-41e9-9a9b-fea8db1a8f51?from=timeline&isappinstalled=0>

7

The Epidemiological Characteristics of an Outbreak of 2019 Novel Coronavirus Diseases (COVID-19) — China, 2020

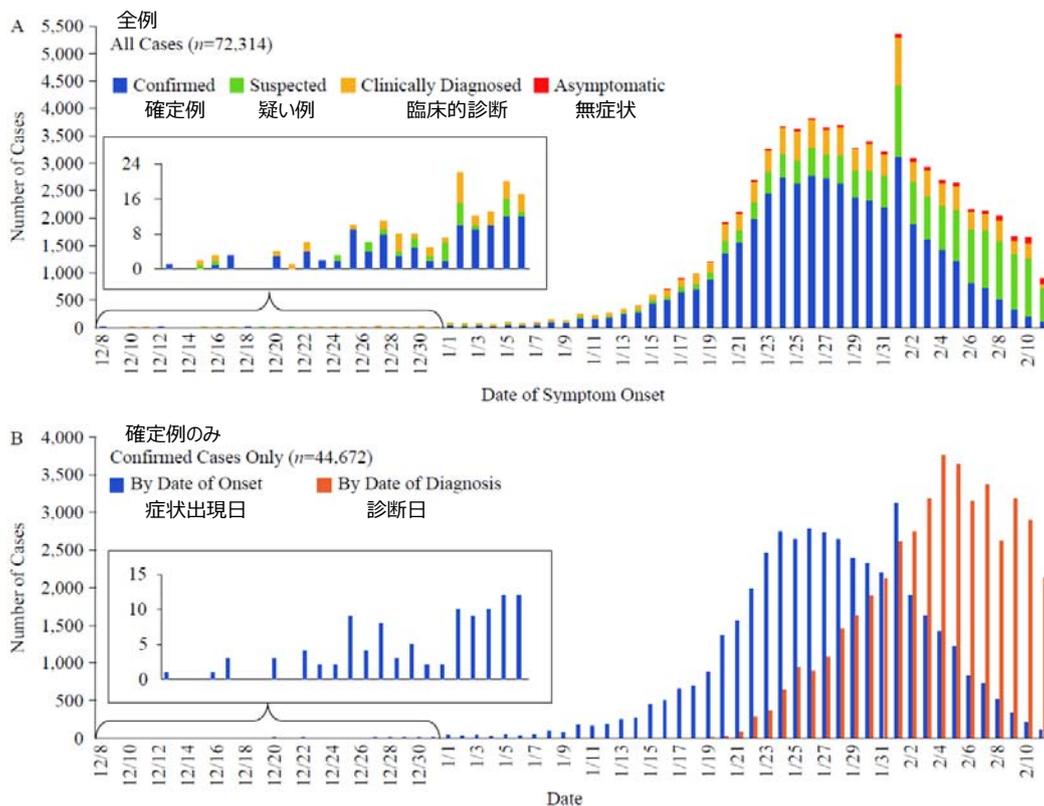


参考文献 1 4

<http://weekly.chinacdc.cn/en/article/id/e53946e2-c6c4-41e9-9a9b-fea8db1a8f51?from=timeline&isappinstalled=0>

8

The Epidemiological Characteristics of an Outbreak of 2019 Novel Coronavirus Diseases (COVID-19) — China, 2020



参考文献 1 4

<http://weekly.chinacdc.cn/en/article/id/e53946e2-c6c4-41e9-9a9b-fea8db1a8f51?from=timeline&isappinstalled=0>

9

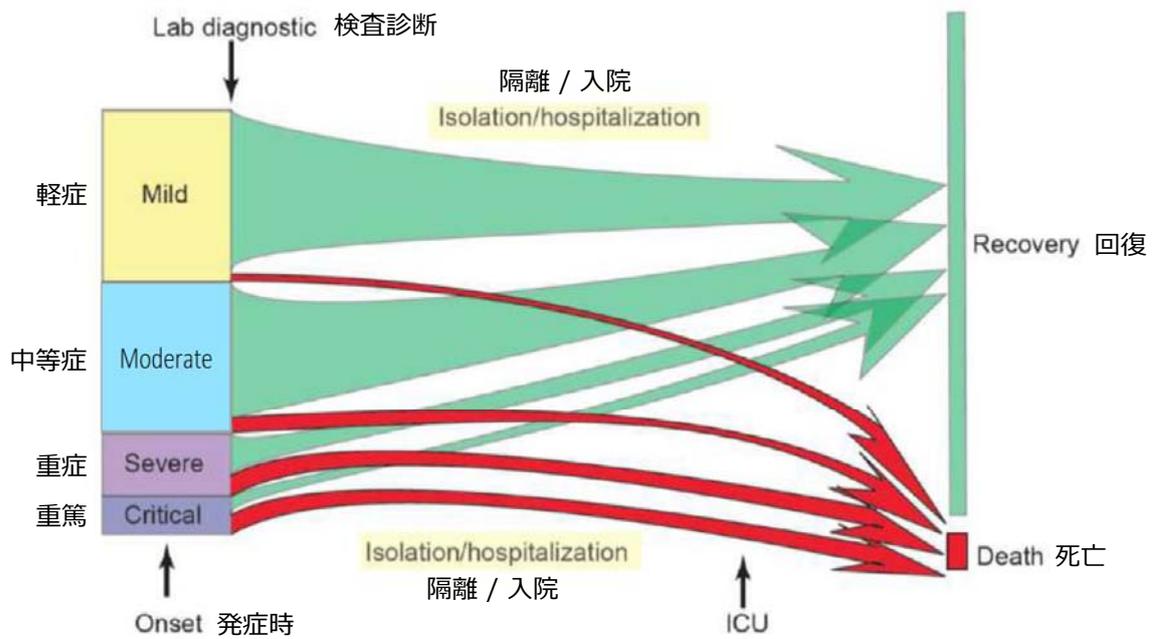


Figure 5. Pattern of disease progression for COVID-19 in China

Note: the relative size of the boxes for disease severity and outcome reflect the proportion of cases reported as of 20 February 2020. The size of the arrows indicates the proportion of cases who recovered or died. Disease definitions are described above. Moderate cases have a mild form of pneumonia.

参考文献 1 1

<https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/who-china-joint-mission-on-covid-19-final-report.pdf>

新型コロナウイルス感染症の症例報告・治療の考え方



一般社団法人 日本感染症学会
The Japanese Association for Infectious Diseases

HOME » 感染症トピックス » 新興・再興感染症 » 新型コロナウイルス感染症

感染症トピックス | Topics

新型コロナウイルス感染症

医療従事者の方へ

参考文献
1 6

- COVID-19に対する抗ウイルス薬による治療の考え方 第1版 (2020年2月26日) **NEW**
- 一般診療として患者を診られる方々へ (2020年2月3日現在)
- 新型コロナウイルス (2019-nCoV) 感染症への対応について (2020年1月28日現在)

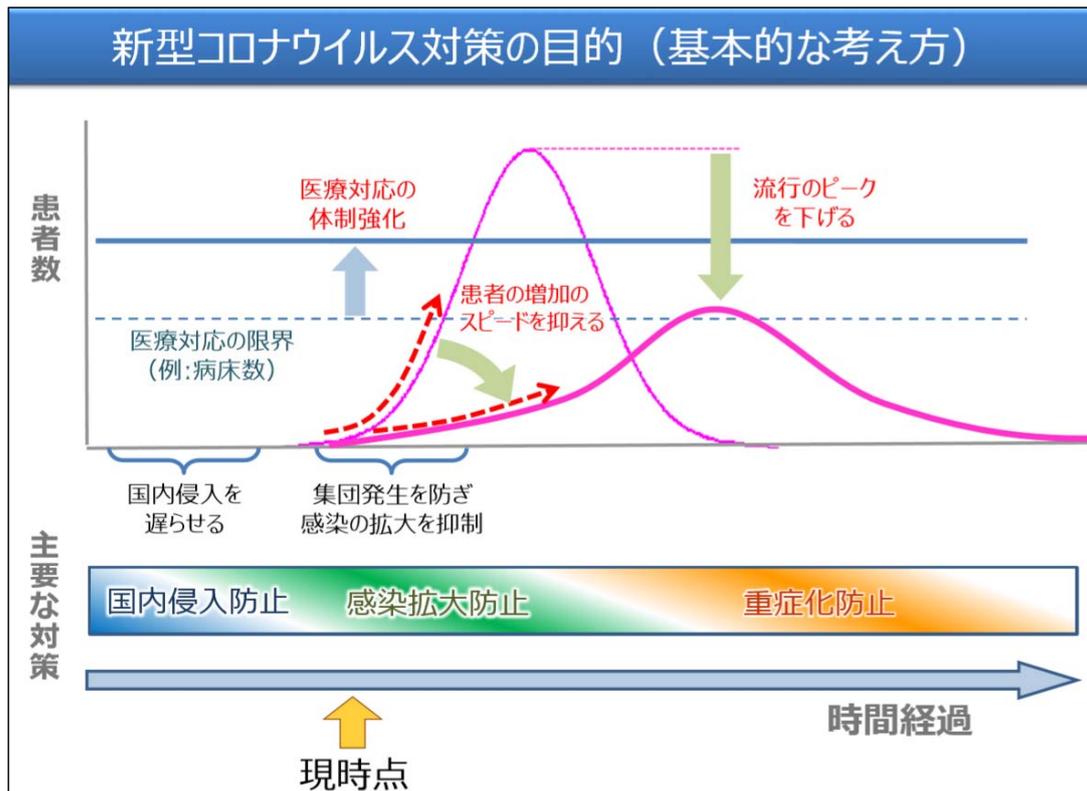
参考文献
1 5

症例報告

- COVID-19肺炎初期～中期にシクレソニド吸入を使用し改善した3例 (地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立足柄上病院) (2020.3.2) **NEW**
- COVID-19と判明した市中肺炎の1例 (2020.3.2) **NEW**
※著者の要望により、病院名、著者名は省いています。
質問等は、日本感染症学会までお願いします。
- 酸素投与が必要となったCoronavirus Disease 2019 (COVID-19) 4症例の経過報告 (東京都保健医療公社豊島病院) (2020.2.25)
- 当院における新型コロナウイルス(2019-nCoV)感染症患者3例の報告 (国立国際医療研究センター) (2020.2.5)

新型コロナウイルス対策の目的（基本的な考え方）

(図3)

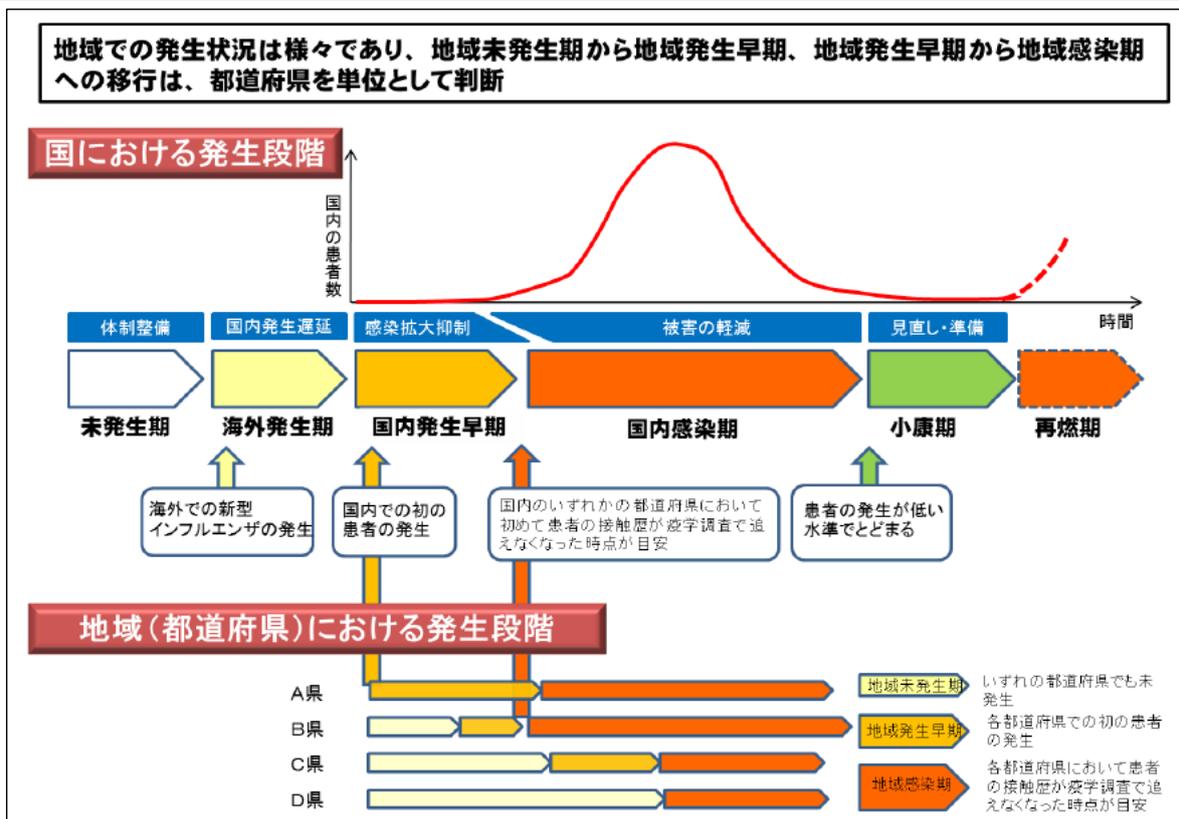


参考文献17 新型コロナウイルス感染症対策本部（第12回）資料1（令和2年2月23日）
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/th_siryou/sidai_r020223.pdf

12

新型インフルエンザ等対策 発生段階

(図4)



参考文献3 新型インフルエンザ等対策政府行動計画
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/keikaku/pdf/h29_koudou.pdf

13

新型コロナウイルス感染症の届出基準・検査対象者

(図5)

感染症法上の届出基準

(2月3日通知、2月4日一部改正)

(2) 臨床的特徴等 (2020年2月2日時点)

現時点で動物等の感染源については不明である。家族間、医療機関などをはじめとするヒト-ヒト感染が報告されている。2019年12月より中華人民共和国湖北省武漢市を中心として発生がみられており、世界的に感染地域が拡大している。

臨床的な特徴としては、潜伏期間は2～10日であり、その後、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状が出現する。一部のものは、主に5～14日間で呼吸困難等の症状を呈し、胸部X線写真、胸部CTなどで肺炎像が明らかとなる。高齢者及び基礎疾患を持つものにおいては重症化するリスクが一定程度あると考えられている。

(3) 届出基準

ウ 疑似症患者

医師は、(2)の臨床的特徴を有する者について、(4)に該当すること等から新型コロナウイルス感染症が疑われ、当該者を新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断した場合には、法第12条第1項の規定による届出を直ちに行わなければならない。

保健所でfollow中

該当する地域は、

- ・中国湖北省、浙江省 (2/12-)
- ・大韓民国大邱広域市及び慶尚北道清道郡 (2/27-)

(4) 感染が疑われる患者の要件

患者が次のア、イ、ウ又はエに該当し、かつ、他の感染症又は他の病因によることが明らかでなく、新型コロナウイルス感染症を疑う場合、これを鑑別診断に入れる。ただし、必ずしも次の要件に限定されるものではない。

ア 発熱または呼吸器症状（軽症の場合を含む。）を呈する者であつて、新型コロナウイルス感染症であることが確定したものと濃厚接触歴があるもの

イ 37.5℃以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、発症前14日以内にWHOの公表内容から新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域に渡航又は居住していたもの

ウ 37.5℃以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、発症前14日以内にWHOの公表内容から新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域に渡航又は居住していたものと濃厚接触歴があるもの

エ 発熱、呼吸器症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断し（法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症に相当）、新型コロナウイルス感染症の鑑別を要したものと

リンク不明者（ア～ウに当てはまらない者）対象

上記に加え以下の場合についても行政検査を行うこと

行政検査の対象者

(2月17日事務連絡、2月27日改訂)

- ・ 37.5℃以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、入院を要する肺炎が疑われる（特に高齢者又は基礎疾患があるものについては、積極的に考慮する）
- ・ 新型コロナウイルス感染症以外の一般的な呼吸器感染症の病原体検査で陽性となった者であつて、その治療への反応が乏しく症状が増悪した場合に、新型コロナウイルス感染症が疑われる
- ・ 医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルス感染症を疑う

新型コロナウイルス感染症にかかる検査については、以下の点に留意すること。

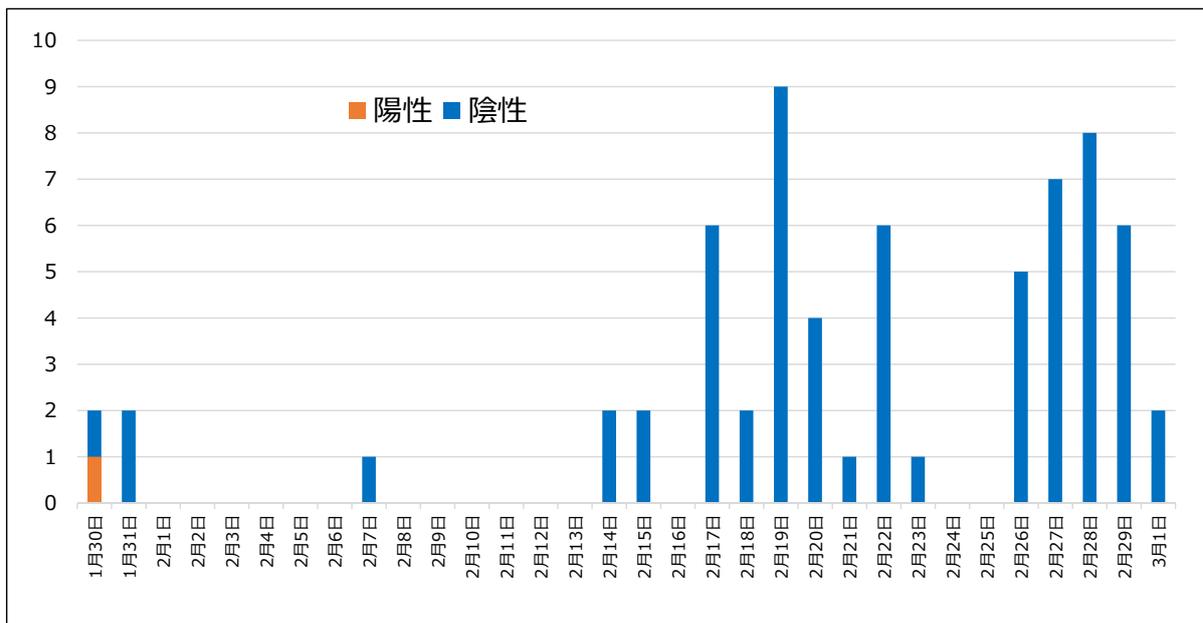
- (1) 以下の検査を行った上で、陰性であった場合には検査を実施すること
 - ・ 季節性インフルエンザにかかる検査
 - ・ その他一般的な呼吸器感染症の病原体の検査
- (2) 結果判明までに時間がかかる培養検査などについては、当該検査と平行してPCR検査を行うこと

14

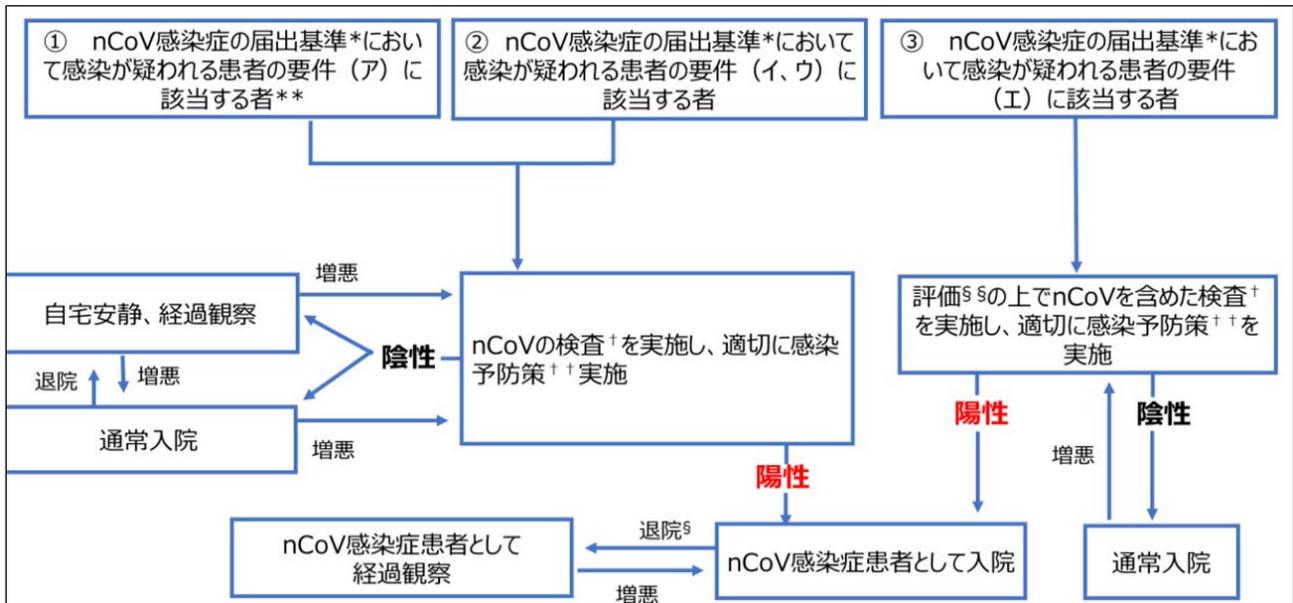
三重県保健環境研究所におけるPCR検査実施件数

(図6)

(陽性患者の陰性確認検査を除く) (2020年3月1日時点)



15



新型コロナウイルス感染症の現状の評価と国内サーベイランス、医療体制整備について（2020年2月7日）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2484-idsc/9372-2019-ncov-7.html>

新型コロナウイルス感染症における退院等基準

**軽快：24時間発熱(37.5℃以上)なし かつ
呼吸器症状が改善傾向であること**

- **患者(症状ありかつPCR検査陽性)**

軽快

→ 48時間 →

①回目
PCR検査陰性

→ 12時間 →

②回目
PCR検査陰性
退院

※ ①回目または②回目のPCR検査で陽性が確認された場合は、改めて、前回検体採取後48時間後に①回目のPCR検査を実施
- **無症状病原体保有者(症状なしかつPCR検査陽性)**

検査陽性
(症状無し)

→ 48時間 →

①回目
PCR検査陰性

→ 12時間 →

②回目
PCR検査陰性
退院

□ 陰転化が確認されるまで、48時間毎にPCR検査を実施する。陰転化が確認されたら、前回検体採取後12時間以後に再度採取を行い、2回連続で陰性が確認されたら退院可とする。

参考文献 2 3 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取り扱いについて（一部改正）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000597947.pdf>

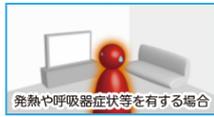
海外発生期～地域感染早期の医療体制

「海外発生期から地域発生早期」までは、「帰国者・接触者外来」における外来診療と「感染症指定医療機関等」における入院診療が原則となります。

地域で新型インフルエンザ等の患者が発生していないか、患者が発生していてもすべての患者の接触歴を追跡できる状態においては、発生国から帰国した人や、その人と濃厚な接触をした人が発熱や呼吸器症状等を有する場合、帰国者や濃厚接触者は、まず都道府県等が設置する帰国者・接触者相談センターに電話で連絡を行います。そして、電話で指示された帰国者・接触者外来を受診します。

因みに、平成21年の新型インフルエンザ対応時に用いられた「発熱相談センター」、「発熱外来」という名称は使用されず、対象者も異なりますので注意が必要です。

帰国者・接触者外来にて新型インフルエンザ等と診断された患者に対して、原則として、感染症法に基づき感染症指定医療機関等への入院措置を行います。



帰国者・接触者相談センター
帰国者・接触者外来*

感染症指定医療機関等に入院

*概ね人口10万人に1カ所程度設置されることになっています。

4

(出典) 厚生労働省, 新型インフルエンザ等発生に備えて 医療機関に求められること
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/dl/pamphlet131220_01.pdf

地域感染期の医療体制

「地域感染期」においては、原則として一般の医療機関において新型インフルエンザ等の診療を行うこととなります。

地域において新型インフルエンザ等の患者の接触歴を疫学的に追跡できなくなった状態になると、帰国者・接触者相談センター、帰国者・接触者外来、及び感染症法に基づく入院措置は中止されます。

透析、がん、産科などに特化した専門医療機関など、新型インフルエンザ等の初診患者の診察を行わないこととしている医療機関を除き、原則として一般の医療機関において新型インフルエンザ等の患者の診察を行うこととなります。重症患者は入院、軽症患者は在宅療養とするなど、患者の重症度に応じて入院適応について判断することとなります。

帰国者・接触者相談センター
帰国者・接触者外来
感染症法に基づく入院

一般の医療機関で診療
●重症患者は入院
●軽症患者は在宅療養

地域感染期以降、患者数が大幅に増加した場合に備え、各医療機関は、診療の需要を減らす、診療の供給を減らさないための方策を検討しておく必要があります。

患者数が大幅に増加した場合の対応

診療の“需要”を減らす

- 外来定期通院患者の診療間隔変更
- 電話再診患者に対するFAXによる処方
- 待機入院、待機的手術を延期
- 在宅治療が可能な入院患者に退院を促す 等

診療の“供給”を減らさない

- 職員の健康管理
- 各部署における人員計画・優先業務のリスタアップ
- 必要な個人防護具・医薬品の確保
- 地域全体での医療体制の構築 等

海外発生期～地域感染早期の感染対策の具体的事例

海外発生期から地域発生早期において、発生国からの帰国者や患者との濃厚接触者が発熱・呼吸器症状等を有する場合、帰国者・接触者外来を受診することとなりますが、患者が殺到して通常の医療に支障を来すことがないように、帰国者・接触者外来を設置する医療機関については、原則として一般に周知は行いません。



帰国者・接触者外来を受診する人には、外科用マスクを着用した上で、専用の入口で手続きを行ってまいります。



受付において、できるだけ患者との接触を減らす工夫をしましょう。



専用の待機室を設けるなど、待合での感染拡大を減らす工夫をしましょう。



専用の診察室で診察を行います。

海外発生期から地域発生早期においては、病原性が低いことが判明しない限り、新型インフルエンザ等と診断された患者に対して、原則として、感染症指定医療機関など入院措置を行うこととなります。



陰圧室計器

陰圧室

新型インフルエンザ等と診断された患者を移動する際は、一般の患者と接触しないようにすることが大切です。

発生当初は病原性や感染経路に関する情報が限られていることが想定されるため、空気感染対策に準じて、陰圧が可能な個室で治療を行うことが望ましいとされています。

個人防護具の着用例

患者と接触する際、医療従事者も感染する可能性がありますので、患者との接触状況に応じて、マスク・ガウン・手袋など適切な個人防護具を着用することが大切です。エアロソル発生のある手技を行う際や、空気感染する可能性のある新感染症の患者と接触する際には、N95マスクの着用が必要となる場合があります。



(出典) 厚生労働省, 新型インフルエンザ等発生に備えて 医療機関に求められること
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/dl/pamphlet131220_01.pdf



地域感染期の感染対策の具体的事例

地域感染期では、通常、感染症の診療を行う全ての医療機関において新型インフルエンザ等の診療を行うことになるため、各医療機関においては、季節性インフルエンザに対して行っている対応の延長線上で、より厳格に飛沫・接触感染対策を実施することになります。具体的には、発熱・呼吸器症状を有する患者と他の患者を時間的・空間的に分離することが求められます。

■外来における時間的分離(診療所向け)



空間的に外来患者を分離することが難しい診療所などの場合、一般の患者と新型インフルエンザ等が疑われる患者の診察時間を分ける、時間的分離方式を採用することが多くなると考えられます。

■外来における空間的分離(病院向け)

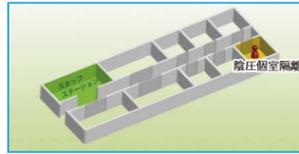


時間的に外来患者を分離することが難しい病院などの場合、一般の患者と新型インフルエンザ等が疑われる患者が接触しないように、空間的分離方式を採用することが多くなると考えられます。

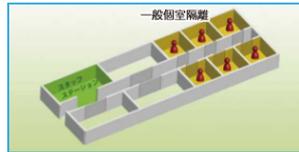
8
(出典) 厚生労働省、新型インフルエンザ等発生に備えて医療機関に求められること
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/dl/pamphlet131220_01.pdf

■入院における空間的分離

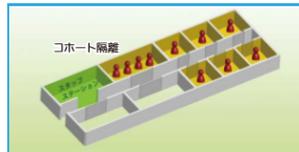
入院患者への対応については、患者数の増加に伴って、新型インフルエンザ等の入院患者と、それ以外の疾患の患者とを物理的に離すことを基本に、新型インフルエンザ等患者のための入院病室を段階的に拡充していきます。



発生当初は、病原性や感染経路に関する情報が限られていることが想定されるため、空気感染対策に準じて、陰圧が可能な個室で治療を行うことが望ましいとされています。



次に一般個室を用いた隔離を行います。



患者数の増加に伴い、患者を1つの部屋に収容するコホート隔離を行います。



さらに患者が増えた場合は、専用の病棟を設定することを検討します。

医療機関における診療継続計画 (BCP) 作成の手引き

診療所、小規模・中規模病院向け

大規模・中規模病院向け

新型インフルエンザ等発生時の診療継続計画作りの手引き

平成24年度 厚生労働科学研究補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業
「新型インフルエンザ等発生時の公衆衛生対策の明確化に関する研究」
分担研究「新型インフルエンザ等発生時の診療継続計画作りに関する研究」
分担研究者 西川 徹

平成25年度 厚生労働科学研究補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業
「新型インフルエンザ等発生時の市町村におけるリスクの適時的な後継体制のあり方の検討」
分担研究「新型インフルエンザ等に対する医療機関におけるBCP策定の手引きの検討」

平成25年 政府行動計画・ガイドラインを踏まえた
「医療機関における新型インフルエンザ等対策立案のための手引き」
(平成25年9月 暫定1.1版)

分担研究者：田辺正樹 三重大学病院医療安全・感染管理課副部長
研究協力者：岡部信彦 川崎市健康安全研究所所長
研究協力者：川名明彦 防衛医科大学校内科学2 (感染症・呼吸器) 教授
研究協力者：大曲真夫 国立国際医療研究センター国際感染症センター長

参考文献 2 9

厚生労働省ウェブサイト、新型インフルエンザ治療ガイドライン・手引きなど、診療継続計画 (BCP) 作成の手引き。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuulenza/kenkyu.html

BCPにおける重要業務、縮小・休止業務の分類について

○ 重要業務、縮小・休止業務の分類

A<高い>： 地域感染期でも通常時と同様に継続すべき診療業務

B<中等度>： 地域感染期には一定期間又はある程度の規模であれば縮小できる診療業務

C<低い>： 地域感染期には緊急の場合を除き延期できる診療業務

	外来・その他	入院 (各診療科において代表的疾患・病態を分類)
A <高い>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ等患者の外来診療 ・病状が不安定な外来患者の診療 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院が必要な新型インフルエンザ等患者 (循環器科の例) 急性心筋梗塞
B <中等度>	<ul style="list-style-type: none"> ・病状が安定している外来患者の診療 ・緊急を要しない検査 	<ul style="list-style-type: none"> (循環器科の例) 労作性狭心症
C <低い>	<ul style="list-style-type: none"> ・健診業務、人間ドック ・健康教育業務 ・研究業務 ・講演会・研究会など 	<ul style="list-style-type: none"> (循環器科の例) 経過良好な冠動脈形成術後の確認造影検査

平成25年 政府行動計画・ガイドラインを踏まえた「医療機関における新型インフルエンザ等対策立案のための手引き」(平成 25 年 9 月 暫定 1.1 版)
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleza/dl/guide_tebiki-02.pdf